

7月度議員懇談会

八木誠一郎会頭の再任を内定



7月度議員懇談会を7月1日午前11時から福井商工会議所ビルで開催し、77名が出席した。

会議の冒頭で部会長会の幹事を務める花山優氏（花山工業(株)社長）より、今年秋の議員改選に向け、次期会頭に八木現会頭の再任を推挙する旨の発言が有り、全議員一致で推挙を決定した。



今後に向けた決意を語る八木会頭

八木会頭は再任の推挙に対して謝意を述べるとともに、会頭就任後、コロナ禍での給付金申請支援やふく割、ワクチンの職域接種など、コロナ対策や経済対策に取り組んできた一年間を振り返った。今後は、アフターコロナにおける事業戦略転換や事業承継、デジタル化等をサポートし、経済の再始動を力強く果たしていくと述べた。また、

2024年春の北陸新幹線敦賀延伸に向け、県都の賑わいづくりに対して強い決意を語るとともに、次の任期は福井の新たな時代を拓くターニングポイントになる重要な三年間と位置づけ、議員および会員の協力を呼び掛けた。



空を活用した移動・物流手段について講演する羽賀氏

空飛ぶクルマは垂直離着陸が可能で、部品数が少なく、製造・メンテナンスコストを抑えられる特徴がある。同社では実用モデルとして二人乗りで15km程度の航続距離を想定した機

体の開発を進めており、2025年の大阪・関西万博会場での活用を目指している。2040年には市場規模が140兆円に拡大すると期待されるなど、移動や観光のツールとして大きな可能性を秘めている。

一方、物流ドローンは実用化に向けた法整備も進み、今年度中には業界内で商業化が始まると見込まれている。同社では30kg程度の荷物が積載できるドローンを開発。今年5月には永平寺町で災害支援物資の運搬を想定した食品配送の実証実験も実施。既に電力会社などから、山岳地帯への物資配送希望の申し出も寄せられているという。

羽賀氏は「福井で空飛ぶクルマや物流ドローンを使い、便利な生活を実現したい」と抱負を語った。

最後に、福井県産材活用課からSDGsの達成に繋がる県産木材の利用促進に向けた「ふくいの木づかい企業宣言」の趣旨説明が行われ、賛同企業の登録制度が紹介された。

【議員異動】（敬称略）

（株）北陸銀行福井地区事業部

（旧）上願 宏幸（常務執行役員）

（新）木田 弘誠（執行役員本部長）

事業開催結果

6.10 産業競争力強化講演会 担当/工業部会



経済産業省製造産業局の藤木俊光局長を講師に招き「我が国製造業の国際競争力の強化に向けて」をテーマに講演会を開催。サプライチェーン混乱による部品調達の遅れや円安による原材料費高騰、カーボンニュートラルやDXへの取り組みなど、今後製造業に求められる取り組みについて解説をいただいた。

参加者/70名

会場/福井商工会議所ビル コンベンションホール

6.3 ふく割販促・ データ活用セミナー 担当/会員サービス課



福井県の消費喚起キャンペーン「ふく割」を有効に活用して店舗の販売促進を図るためのセミナーを2部構成で開催。第1部ではPOPやポスターを活用した販促について、第2部ではふく割の利用データを踏まえた利用者の動向把握や売上UPの方法について解説を行った。

受講者/66名(オンライン含む)

会場/福井商工会議所ビル 会議室AB
(オンラインとのハイブリッド開催)

【福井県からのお願い】 原材料価格高騰にかかる 適切な価格転嫁等に関する配慮について

ロシアによるウクライナ侵攻の影響により、原材料価格が高騰し、多くの事業者において仕入れコストが上昇するなど、依然として厳しい状況が続いています。

このような状況下では、適切な価格転嫁を進めることによりサプライチェーン全体でコスト上昇分を負担していくことが重要です。

県においても、価格転嫁に関するセミナーの開催等を支援するとともに、物価高騰の影響により収益が悪化した事業者への制度融資を創設するなど、資金繰りの面からも事業継続を下支えしてまいります。

事業者の皆様におかれましても、取引先から価格交渉の申し出があった場合には、積極的に応じ、十分な協議のもと、コスト上昇分を考慮した適切な価格決定を行うようご配慮をお願いします。

6.7 県都にぎわい創生協議会 担当/まちづくり・産業振興課



県都グランドデザインの骨子案が示された他、まちなか再生ファンドの詳細や新たなエリアマネジメント組織の設置方針について説明があり、意見交換がなされた。今後は、福井市東公園を建設予定地とするアリーナ基本構想などの実現に向けて議論を進めていく。

会場/福井商工会議所ビル コンベンションホール